

定期観光バス運行開始75周年日帰りバスツアー

記念日の都内遊覧に思う

昭和入社

東京の変化の速さに@驚く 匿名会員

運行当時昭和24年の 東京半日Aコース降車箇所

特別企画、定期観光バスにゆられ、時の流れに浸って来ました。

運行開始当時の昭和24年の東京は、GHQの管理下で戦後のどん底から抜け出しアメリカ文化の移入から軍服、モンペ姿も少なくなり少しずつ規制が緩和され、戦後復興が急ピッチで進む時代にありました。はとバスは国内外に新たな夢と平和の真の姿を紹介するため走り始めました。「江戸・明治時代



から終戦」の歴史を振り返り、明るい未来へ元氣を持ってもらうため希望に満ちた桜の咲くころの季節が最適だったと思います。上野発東京半日コースの下記の降車箇所はそんな観光ルートだったように私には思えてなりません。



▲昭和30年代制服 (モデル)

1 上野恩賜公園

かつては増上寺と並ぶ江戸幕府の菩提寺で南光坊天海が開いた東叡山寛永寺、その境内が上野公園だったそうです。一説では天海||明智光秀とも...そして江戸城無血開城後、慶喜公の護衛「彰義隊」と新政府軍が戦った戊辰戦争の二つ、薩摩軍が奮闘した上野戦争の舞台、その後北へ後退、花も会津の白虎隊、最後は五稜郭での函館戦争で終結しまし



▶上野の西郷さん

た。上野公園は戦死者や東京大空襲被災者の仮埋葬の地でもあり、古代の前方後円墳の摺鉢山古墳群でもあります。更に、1898年(明治31年)に建てられた明治の英雄「西郷隆盛」の銅像など歴史ストーリーがあります。

2 皇居前

1467年太田道灌により築城の江戸城、三大事件「松の廊下」、「桜田門外の変」、「無血開城」、その影で徳川を存続させ歴史を動かした大奥皇女和宮と天璋院篤姫の史実、戦国時代の淀殿(茶々)が豊臣を滅亡させたことへの反省があったのかも知れません。又、日本の象徴である天皇家への尊敬と憧れの場所、玉音放送で登

場する皇居前広場、昭和20年5月25日の空襲で被災全焼した明治宮殿、それに替わる吹上御所は昭和36年落成されたそうです。その間、昭和天皇は御文庫が仮御所とのことです。

3 迎賓館赤坂離宮 (旧東宮御所)

1909年建てられた皇太子殿下がかつてお住まいでした。

4 浅草寺

現在の本堂は空襲で焼け落ち、昭和26年復興に着手し、昭和33年に再建されたそうですので、当時は淡路堂の仮本堂に空襲でも無事だった秘仏ご本尊をお祀りしていたそうです。



▶昔も今も集合写真は皇居前

注・定期観光運行開始の翌年昭和25年「1950年」勃発の朝鮮戦争特需により戦後不況を脱し、高度経済成長に繋がったと言われています。英語のツアーもこのころに運行開始されたとのこと。